

令和元年度「ストップいじめ なら子どもサミット」 ～第2回ワーキングの様子～

奈良市教育委員会事務局
いじめ防止生徒指導課

令和2年1月18日（土）午前9時30分から午後0時まで奈良市教育センターにて、今年度の「ストップいじめ なら子どもサミット」第2回ワーキングを開催しました。春日、三笠、若草、伏見、富雄、都南、登美ヶ丘、平城西、二名、京西、富雄南、平城、飛鳥、登美ヶ丘北、都跡、平城東、富雄第三の17中学校から72人の生徒がワーキングに参加しました。

2回目のワーキングということもあり、緊張した表情が少し緩み、落ち着いて参加している様子が見られました。前回と同様に他の学校の代表生徒と交流し、率直な意見交換や積極的な協議が行われました。

○はじめに

奈良学園大学の松井典夫教授より、「このサミットに参加する皆さんが、身の回りのネットいじめについて、しっかり学ぶためのサポートをしたい」とのお言葉をいただきました。進行役の由本先生（飛鳥中学校）から、今年のストップいじめなら子どもサミットのテーマ『ネットいじめをなくすために私たちができること、大人ができること～ネットいじめを撲滅 みんなでスクラム G21～』の再確認がありました。そして、同じく進行役の安田先生（都南中学校）から、本日の活動についての説明と第1回ワーキングの活動報告があり、この日のワーキングがスタートしました。



○ワークショップ I（取組の交流）

初めに由本先生より、「今年のストップいじめなら子どもサミットは、当日も含めて同じ学校の仲間だけでなく、いろいろな学校の仲間と班を作って活動します。」と説明があった後、グループワークをする班に分かれ、「チェーン自己紹介」でアイスブレイクを行いました。初めて出会う仲間でしたが、すぐに打ち解けました。

ワークショップ I では、STOP it（いじめ相談アプリ）のドラマ教材を視聴し、各班で着目点を見つけ、考えたことを模造紙にまとめていきました。

その後、各班を2つに分け、ポスターセッ



ション形式により各班の活動内容を交流しました。どの班も真剣に議論し、堂々と発表する姿が印象的でした。その後、各班から聞き取ってきた内容をグループ内で共有し、ワークショップのまとめを行いました。

○ワークショップⅡ（役割分担）

安田先生から、サミット当日に向けての流れの確認とサミットでの役割の説明がありました。当日は、生徒たちが全体の司会進行や開会・閉会のあいさつ、受付や誘導など多くの役割を担い、生徒たち自身でサミットを運営します。役割決定においては、割り当て人数をはるかに超える立候補がありました。そのような生徒たちの意欲的な姿を見て、サミットに向けての意気込みを感じました。



当日も生徒たちの熱い心で、ネットいじめをなくすための議論が展開され、これまで以上のサミットになることを期待しています。

○まとめ

由本先生から、今までのワーキングを通して「学校の代表として、周りの意見をしっかりと聞き、自分の考えを積極的に発信していこう。」と激励の言葉がありました。次に、奈良学園大学の松井先生から「みんなの積極的な活動を見て、驚きました。SNSの特徴をよくつかんでおり、罪悪感を感じないことや周りの目が行き届かないことから、平気でやってしまうなどの分析がありました。傍観者を仲裁者にしていくことが必要だと思います。」と感想やアドバイスをいただきました。



次回の第3回ワーキングは、第1回、第2回のワーキングの振り返りと本番に向けての確認及び打ち合わせを行う予定です。

令和元年度「ストップいじめ なら子どもサミット」

令和2年2月1日(土) 奈良市教育センター 8階及び9階

○10:00~11:40 第3回ワーキング

○13:30~16:00 サミット本番

同時開催：生命のメッセージ展 8階 小講座室

○11:40~16:00

いじめ問題に向き合う子どもたちの活動を応援してください。